

1 原子力防災訓練

(1) 訓練の目的

県内で感染症が流行している状況下において、伊方発電所で地震に起因する事故が発生した場合を想定し、緊急時における感染症拡大防止対策を含む災害対策の習熟と防災関係機関の相互協力体制の強化を図るとともに、県民の原子力防災に対する理解を促進することを目的とする。

(2) 実施日

令和3年10月15日（金）

(3) 実施場所

愛媛県庁ほか、発電所を中心としたおおむね半径30km以内の地域を中心とする県内全市町及び近隣県

(4) 訓練項目

- | | | | |
|---------------|---------------|------------|--------------|
| ①緊急時通信連絡訓練 | ②緊急時にラジオ訓練 | ③災害広報訓練 | ④災害対策本部訓練 |
| ⑤ウェブサイト運営訓練※1 | ⑥自衛隊等災害派遣要請訓練 | ⑦住民避難・誘導訓練 | ⑧発電所内緊急時対応訓練 |
- ※1 オフサイトセンター運営訓練は11/17に実施
※2 感染症防止対策のため防災業務従事者のみで実施
※3 有人機とドローンの連携等に係る実証実験をJAXA等と共同実施

(5) 参加機関及び参加人数

68機関 19,580人（屋内退避参加者18,910人、関係機関参加者670人）

2 ドローン運用訓練

(1) 訓練の目的

原子力災害時において、住民避難に必要な避難道路の被災状況等を迅速かつ効率的に把握できるよう、平成30年度に構築した情報収集体制「愛媛県ドローンオペレーション」の運用の定着を図ることを目的とする。

(2) 実施日

令和3年10月18日（月）、19日（火）、21日（木）

(3) 訓練項目

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| ①愛媛県庁
・ドローン飛行指示、映像確認
・ドローン着陸指示等 | ②ドローン運用拠点
・映像伝送の準備
・ドローン離陸前準備等 |
|---------------------------------------|--------------------------------------|

(4) 参加機関及び参加人数

30人（愛媛県15人、伊方町11人、八幡浜地区施設事務組合消防本部4人）

3 オフサイトセンター運営訓練（国主催の原子力災害現地対策本部図上演習に合わせて実施）

(1) 訓練の目的

原子力災害時における県現地災害対策本部要員を対象として、オフサイトセンターにおける情報収集、情報伝達等の活動内容を確認し、原子力災害への対応能力の向上を図ることを目的とする。

(2) 実施日

令和3年11月17日（水）

(3) 実施場所

愛媛県オフサイトセンター

(4) 訓練項目

県現地災害対策本部活動訓練

(5) 参加機関及び参加人数

15人（南予地方局7人、原子力安全対策課1人、八幡浜市3名、内子町1名、県警本部2名、八幡浜地区施設事務組合消防本部1名）

4 災害対策本部運営訓練

(1) 訓練の目的

県内で感染症が流行している状況下において、伊方発電所で地震に起因する事故が発生した場合を想定し、災害対策本部要員等が、発災時から施設敷地緊急事態における活動（施設敷地緊急事態における避難等の防護措置の実施状況の確認や全面緊急事態における避難等の防護措置の検討など）を実施し、住民が迅速かつ安全に避難できるための対応力の向上を図る。

(2) 実施日

令和3年11月24日（水）

(3) 訓練項目

- 原子力災害時における関係機関の災害対策本部等の運営訓練
・施設敷地緊急事態における避難等防護措置の実施状況の確認
・全面緊急事態における防護措置の内容資料の検討・作成
- ドローン撮影映像の活用に係る訓練
- 住民の避難等の防護措置の検討等に係る訓練
- 原子力防災関連システムを通じた情報共有等に係る訓練
- ウェブサイト対応等に係る四国電力との連携訓練
- ウェブサイトセンターの立ち上げ訓練

(4) 参加機関及び参加人数

22機関 112人

（参加機関内訳） 内閣府、伊方原子力規制事務所、愛媛県、山口県、大分県、重点市町（伊方町、八幡浜市、大洲市、西予市、宇和島市、伊予市、内子町）、避難先市町（松山市、東温市、松前市、砥部町、久万高原町、松野町、鬼北町、愛南町）、八幡浜地区施設事務組合消防本部、四国電力